

この単元（時間）は、各生徒の役割分担と課ごとの目標が設定された後に行う。評価が個人内評価であるため、他の生徒との相対的な評価ではなく、個人としてどれだけ向上したかを測る。そのために、年度当初に、個人としてどのように取り組むのかという目標を設定させる。このページの文章は、その説明として次頁とともに生徒に配付して読ませている。

「総合的な学習の時間」個人課題の設定について

市岐商デパート

皆さん

「総合的な学習の時間」は、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。」をねらいの一つにしています。

このねらいを達成するため、あるいは達成できなくとも少しでも近づくために、本校では「総合的な学習の時間」として「市岐商デパート株式会社」の活動を、年間を通して行います。市岐商デパートの活動の中で課題を見つけそれを解決していくわけです。

「総合的な学習の時間」としての「市岐商デパート株式会社」には「コミュニケーション」という名前が付けてあります。コミュニケーションとは、人間同士の意思のやりとりと考えることができます。商業の中心にある売買とは、まさにコミュニケーションであるといえます。売りたいという意思をお客様に伝え、お客様の買いたい気持ちを、接客の中で増幅させ、お買いあげいただくという双方向のやりとりです。これを最大の範囲として、課題を見つけてください。全員がどこかの課に所属していますからその立場で見つけてください。

これまでに数時間この学習に関する活動を終えていますから、1年生の諸君もおおよそのことは感じ取れていると思います。自分の所属する、「課の自分」、「係としての自分」の立場から、達成したい課題を見つけてください。

たとえば、

お客様から何か反応が返ってくる声の掛け方はどのようにしたらよいか。

間違いなく釣り銭を返す方法はないか。

買って帰っていただくにはどうしたらよいか。

などについて、「コミュニケーション」を念頭に置いて考えてください。

直接お客様とふれあう機会のない生徒もいますし、少ない生徒もいます。その場合は、「人と人との適切な関係の構築」の観点から課内でのコミュニケーションについての課題でも良いわけです。

お客様や地域の皆様との関係、課内の生徒同士、店舗内での生徒同士、生徒と先生との関係、特別事業として参加して下さる保護者の皆様と生徒との関係など、コミュニケーションに関わる適切な関係の構築のための課題なら何でも良いのです。

お客様や地域の皆様との実践の場は11月3日の当日1日のみしかありません。それまでの日常の生活や総合的な学習の時間を利用して何をしなければならないか、が大変重要になります。その過程の計画も立ててください。もちろん、職場実習（仕入先実習を含む）での機会もありますが、メインは11月3日です。照準を合わせてください。

今日決まらなければ、なるべく早めに決めてください。

提出先は、各課の担当者です。